

学習指導要領改訂に伴う  
武道必修化への対応は

七海議員

中学校の学習指導要領改訂に伴い、この四月から保健体育の授業に武道が必修となる。この武道の必修化に対する本市教育委員会としての対応を伺う。

教育長

平成二十四年四月から中学校の学習指導要領全面実施により、保健体育の授業で武道領域等が必修となる。移行措置で既に実施されている一・二学年の履修状況は、市内九校中五校が柔道、三校が剣道、一校が男子柔道、女子剣道である。施設状況は、柔道六校のうち、四校が武道場、二校が体育館に畳を敷いている。剣道は四校中三校が武道場、一校が武道場と体育館である。柔道着は個人で購入、剣道着は個人の学校用運動着で代用し、防具や竹刀は、すべて学校のものを使用している。指導における安全対策としては、生徒の技能段階に応じた指導を心がけるとともに、授業前の生徒の健康状態を把握し、指導中における生徒の体調の変化に気を配ることが大切である。また、応急処置の仕方や緊急連絡体制などの確



市内中学校の武道場

認も重要である。本市教育委員会としては、必要に応じて保護者や地域との連携を図り、外部指導者の活用について援助するなど多方面から学校を支援していきたい。

タンデムマス検査の

導入予定は

佐藤議員

栃木県の予算を見たところ、タンデムマス検査費四十九百万円が計上されている。栃木県でもできるならば、真岡市でもこれは導入できるなという思いがあったので、担当課でどのように県のほうから指導なりこの先について説明を受けているのか聞かせて

いただきたい。

健康福祉部長

先天性代謝異常の新しい検査法であるタンデムマス検査は、新生児に対し血液を採取して生まれつきの病気を調べる検査で、より多くの病気の有無を調べることが可能となった。

厚生労働省からタンデムマス検査の有効性が認められ、平成二十三年三月に都道府県及び政令指定都市に対して、積極的に導入を検討するよう通知があり、栃木県では平成二十四年度予算に検査費約四千九百万円を計上すること

である。検査機器の整備や治療可能な医療機関の確保、疾病が判明した乳児、保護者に対するフォロー体制の整備などに時間を要するため、平成二十四年度後半からの実施になるとのことである。

なお、この事業はこれまでの六疾患の検査事業と同様に、栃木県が事業主体で、検査費の全額が県費負担で実施されるものである。

ひまわり園移転先の

施設の概要は

佐藤議員

ひまわり園は四月から、

真岡コンピュータ・カレッジ跡地に移転する。規模も含めてどういうふうな形で進めるのか。そしてまた、保護者の反応はどうなのか伺いたい。

健康福祉部長 ひまわり園の移転先施設は、平成二年に旧真岡コンピュータ・カレッジ食堂として建設された床面積約四百平方メートルの鉄骨造であり、体育館も併設となる。改修にあたっては、保護者との話し合いで要望のあった点を考慮し、入口のバリアフリー化や個別相談室の設置、車いすでも可能な通路、トイレ、洗面台など、障がい児に合った改修とした。また、建物南側には、ブランコや鉄棒など、屋外での療育に必要な施設も新設する。さらに、併設の体

育館は、雨天時や冬期等の療育の場としての利用ができる。療育内容についても、従来の音楽療法士や言語聴覚士等の機能回復訓練に加え、平成二十四年度からは、作業療法士の指導も実施し、さらなる療育の充実に努める。保護者の方からは、早く新しい施設への通園を望む声が数多く寄せられている。今後は、保護者の要望でもある四月当初の開園を目指したい。

メガソーラー施設の

候補地決定の経緯は

大根田(悦)議員

メガソーラー太陽光パネル設置の候補地は、旧真岡コンピュータ・カレッジの運動場であるが、ここが候補地になった経緯、また、大内地区十六区長で構成している大内地区環境保全対策協議会にこの計画を説明、報告してあるのか伺いたい。

市長

昨年八月、栃木県からメガソーラー候補地募集の通知があった。主な募集条件は、日照条件がよいこと、おおむね二ヘクタール以上の土地であることなどであり、



移転先の ひまわり園